

2013年3月8日

RIETIハイライトセミナー

企業の新たなグローバル展開と日本経済

# 日本経済はグローバル化で 成長する

戸堂康之

経済産業研究所 ファカルティフェロー

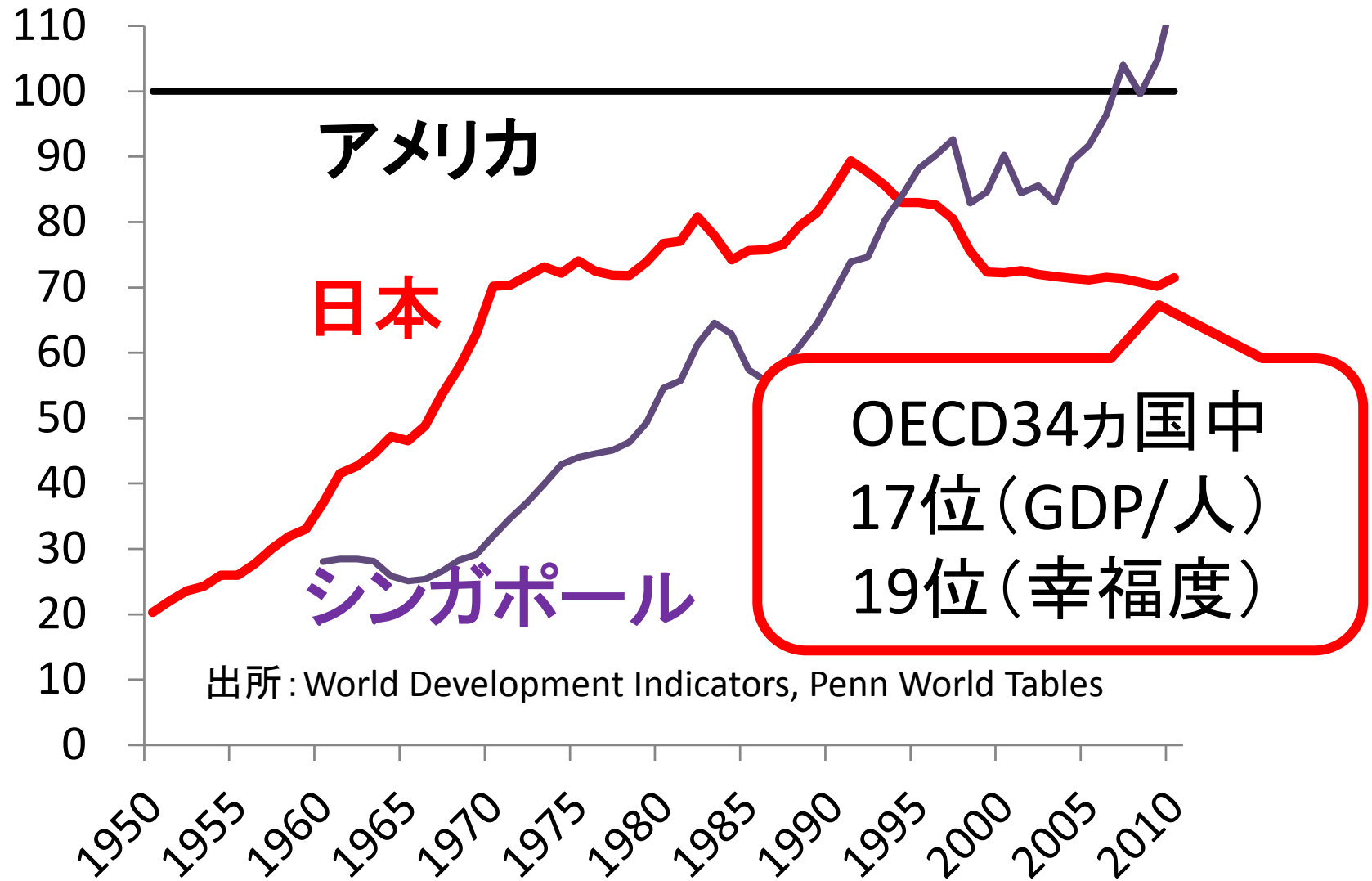
東京大学 新領域創成科学研究科

国際協力学専攻 教授

ハイライトセミナーで配布・使用したTPP推計の値に誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。

# 日本経済は20年間の長期にわたって停滞中

1人当たり実質GDP(購買力調整済み, アメリカ=100)



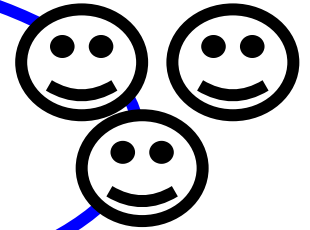
# 長期的な経済成長の源泉は？

設備投資？  
公共投資？

「技術」進歩  
＝知恵の創造

短期的には効くが  
長期的には  
収益率低下

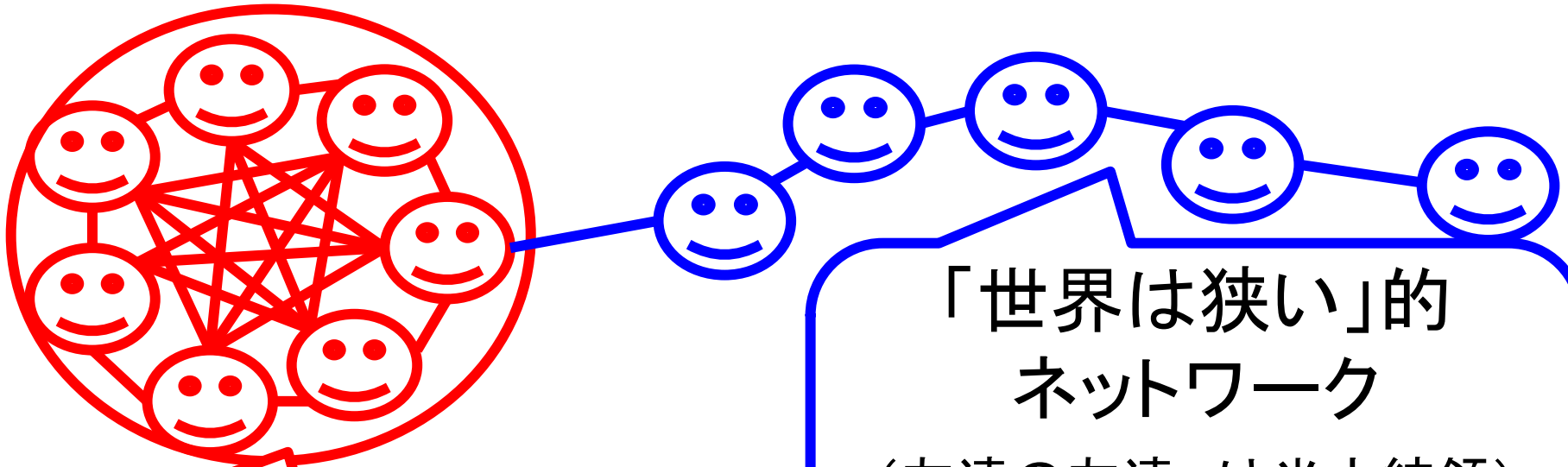
「3人寄れば  
文殊の知恵」で  
知恵を創造



グローバル化  
海外との  
つながり

産業集積  
地域内の  
つながり

# 2つのタイプのネットワークが 技術革新のために必要



密度の濃いネットワーク

(友達は皆友達同士)

→ ネットワーク内での  
知識の共有 (Centola, 2010)

「世界は狭い」的  
ネットワーク

(友達の友達...は米大統領)

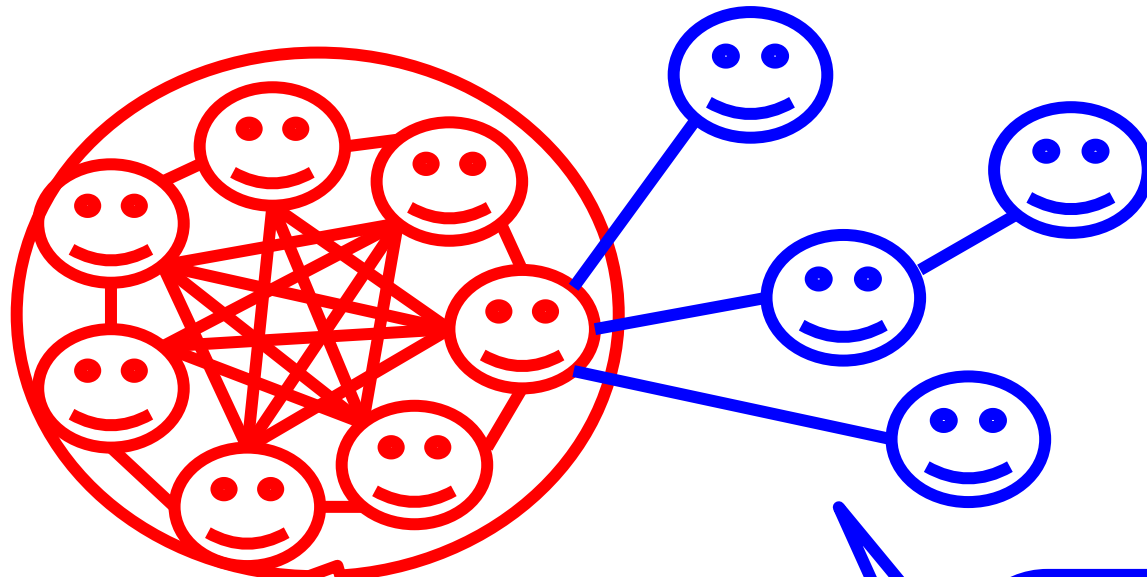
→ 新しい知識の伝播

(Watts & Strogatz, 1998)

両方を持った研究者・  
組織が最も生産的

(Rost 2011; Tiwana 2008)

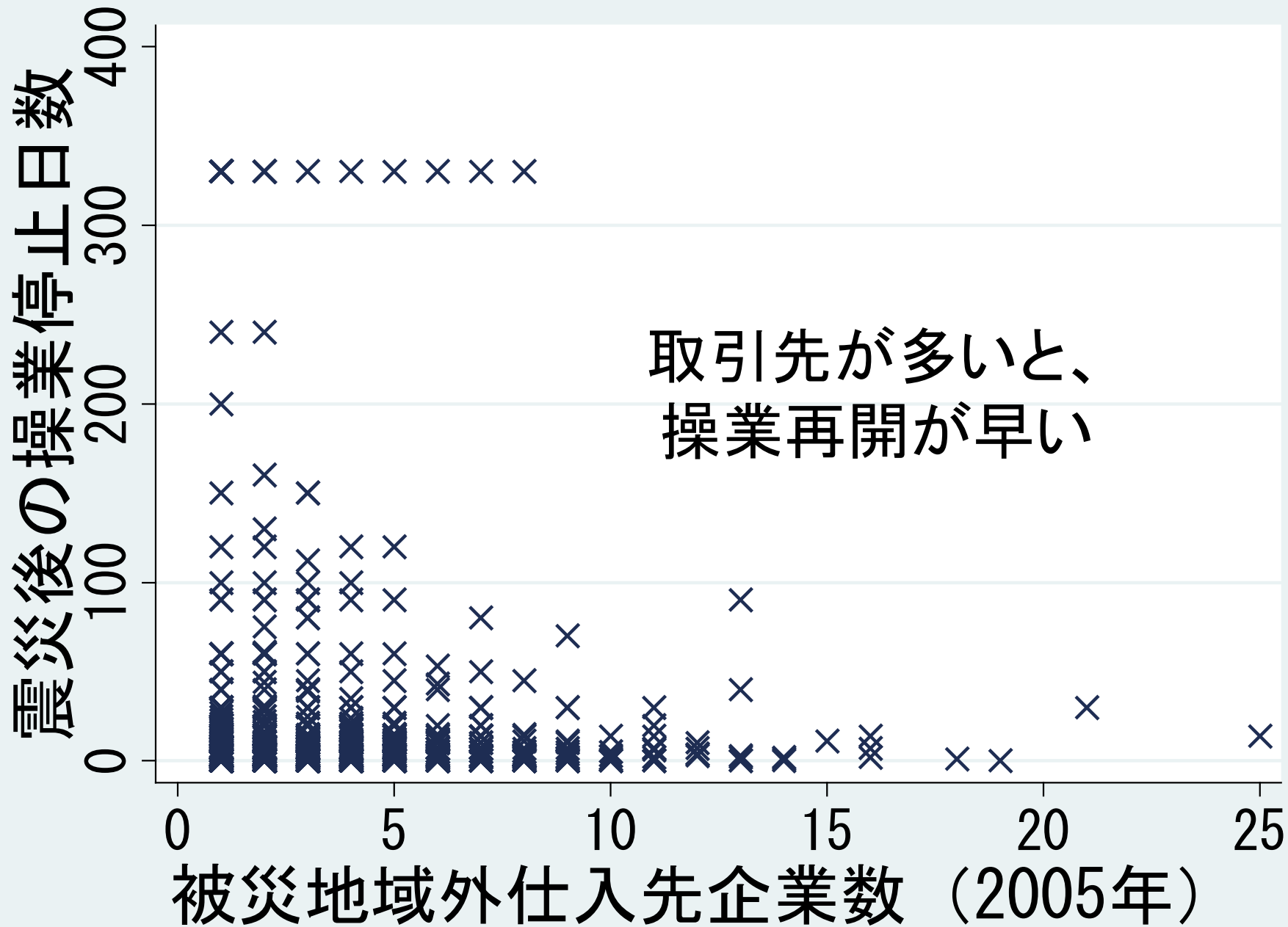
# 東日本大震災後の被災地企業の復旧にも 両方のタイプのつながりが役立った



RIETIが収集した  
被災地企業データ  
による分析  
(戸堂他, 2013)

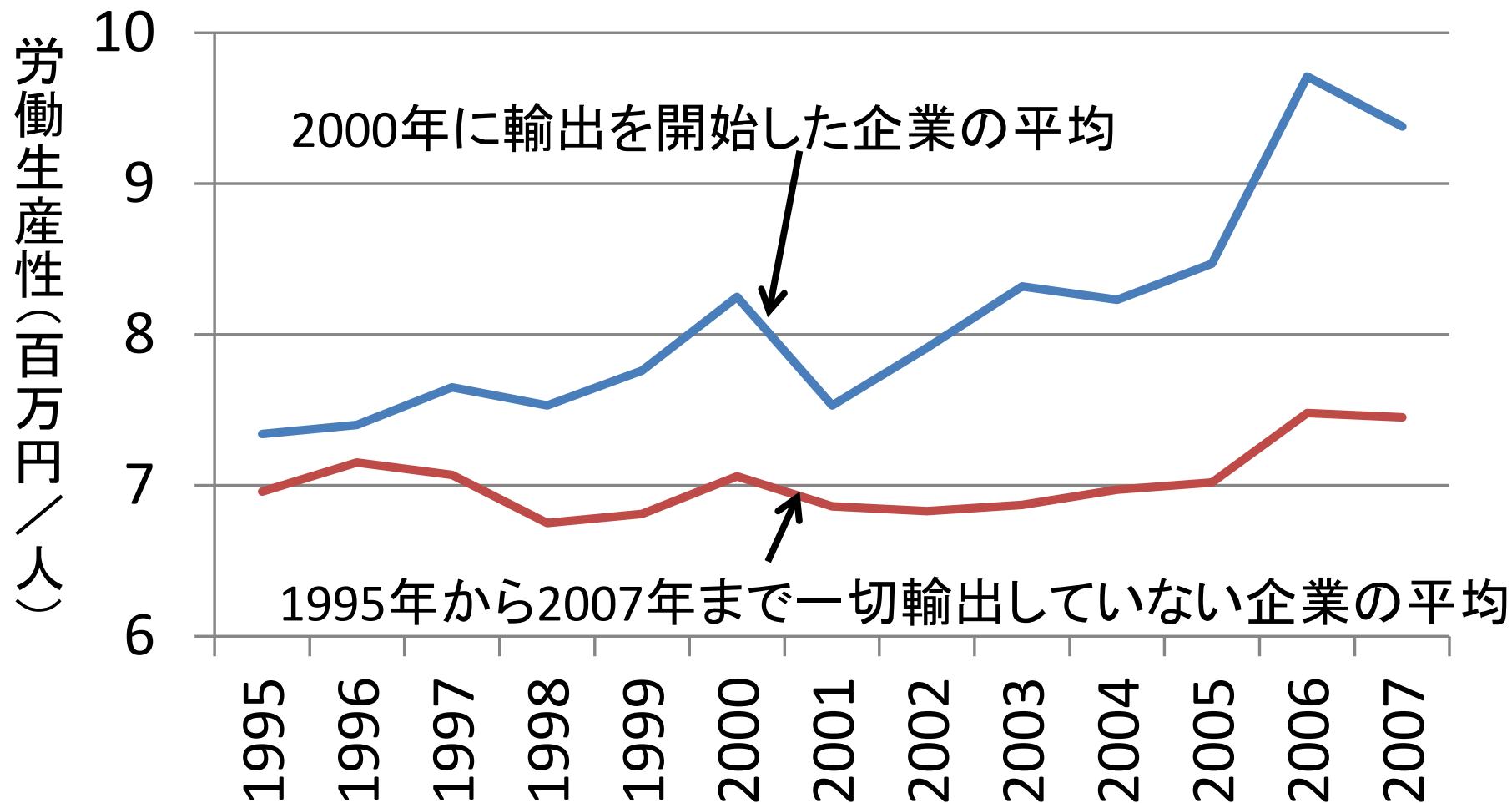
被災地域内の  
サプライチェーン・  
ネットワーク  
→ 震災後の売上の復旧

被災地域外との  
サプライチェーン・  
ネットワーク  
→ 早期の操業再開



# グローバル化で本当に成長できるのか？

## 輸出によって生産性は上昇する



# グローバル化→生産性上昇

日本の企業データを使った分析による平均的効果

技術伝播を  
越えた  
「3人寄れば  
文殊の知恵」

規模の経済

知識集約的  
工程への特化

輸出: 2%上昇  
(Kimura & Kiyota, 2006)

海外直接投資: 2%上昇  
(Hijzen, Inui, & Todo, 2007)

海外での研究開発: 3%上昇  
(Todo & Shimizutani, 2008)

海外生産委託: 0.6%上昇  
(Hijzen, Inui, & Todo, 2010)

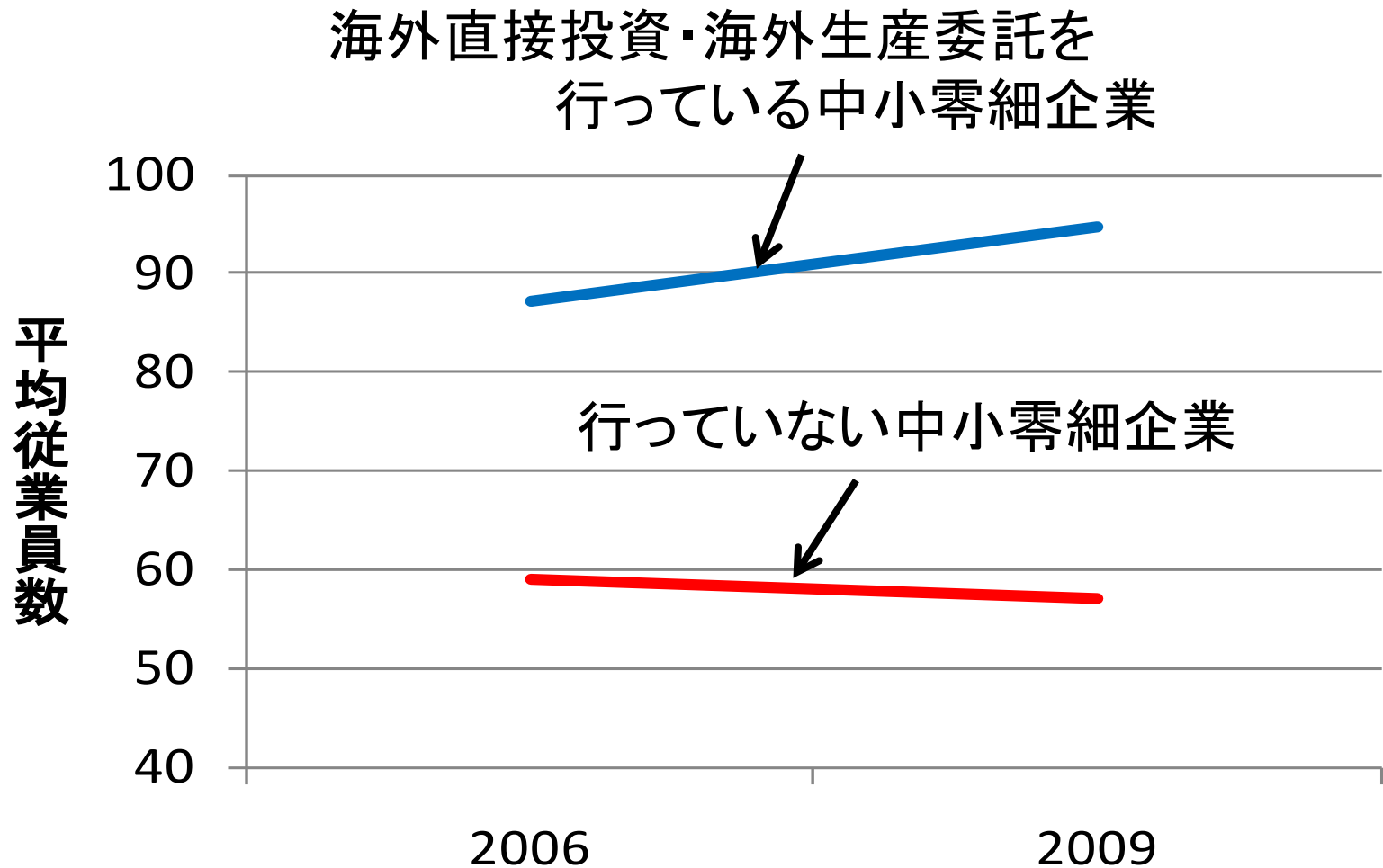
対日研究開発投資: 4%上昇  
(Todo, 2006)

日本  
企業

外国

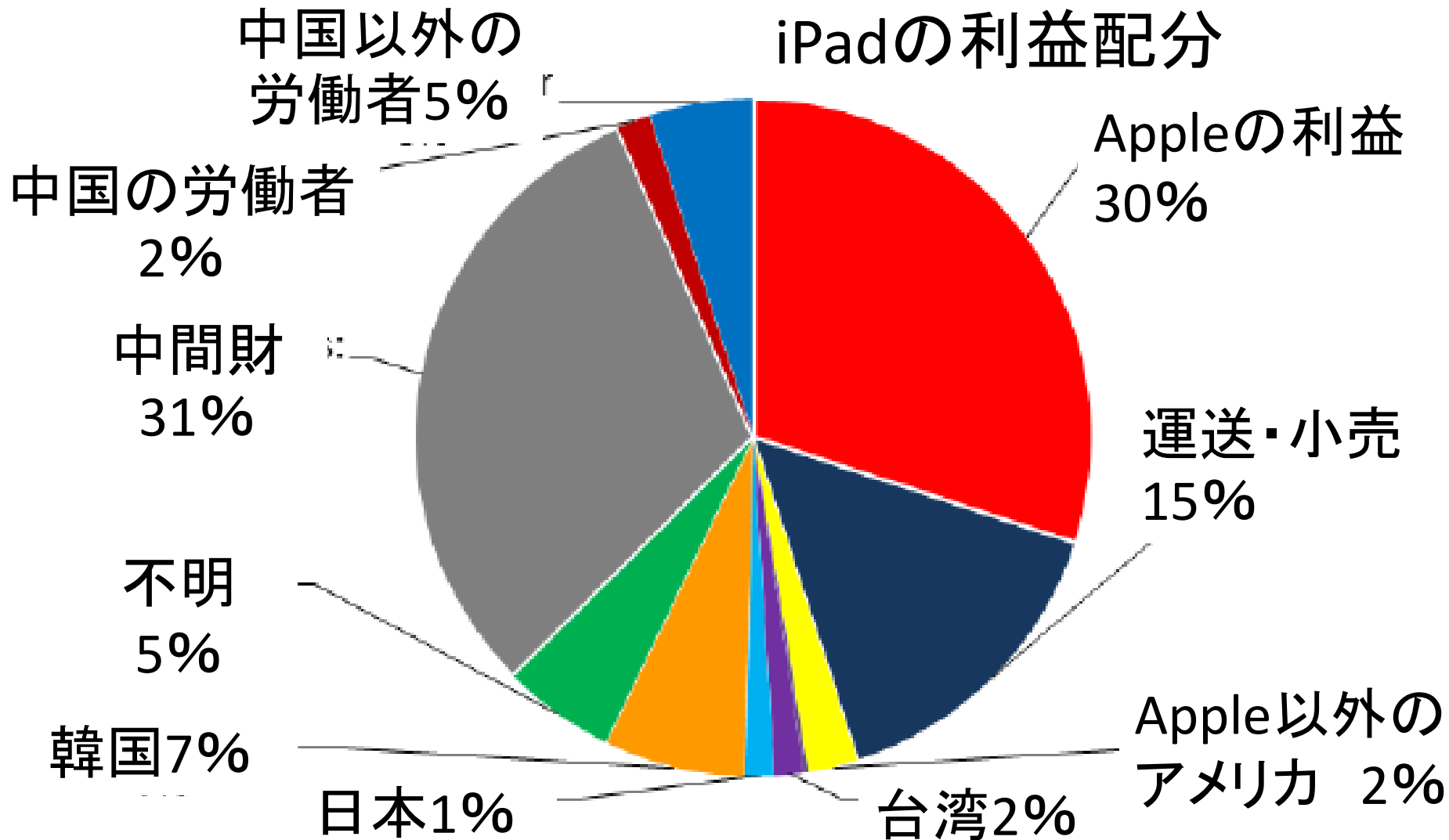


# 海外進出で国内雇用は減らない

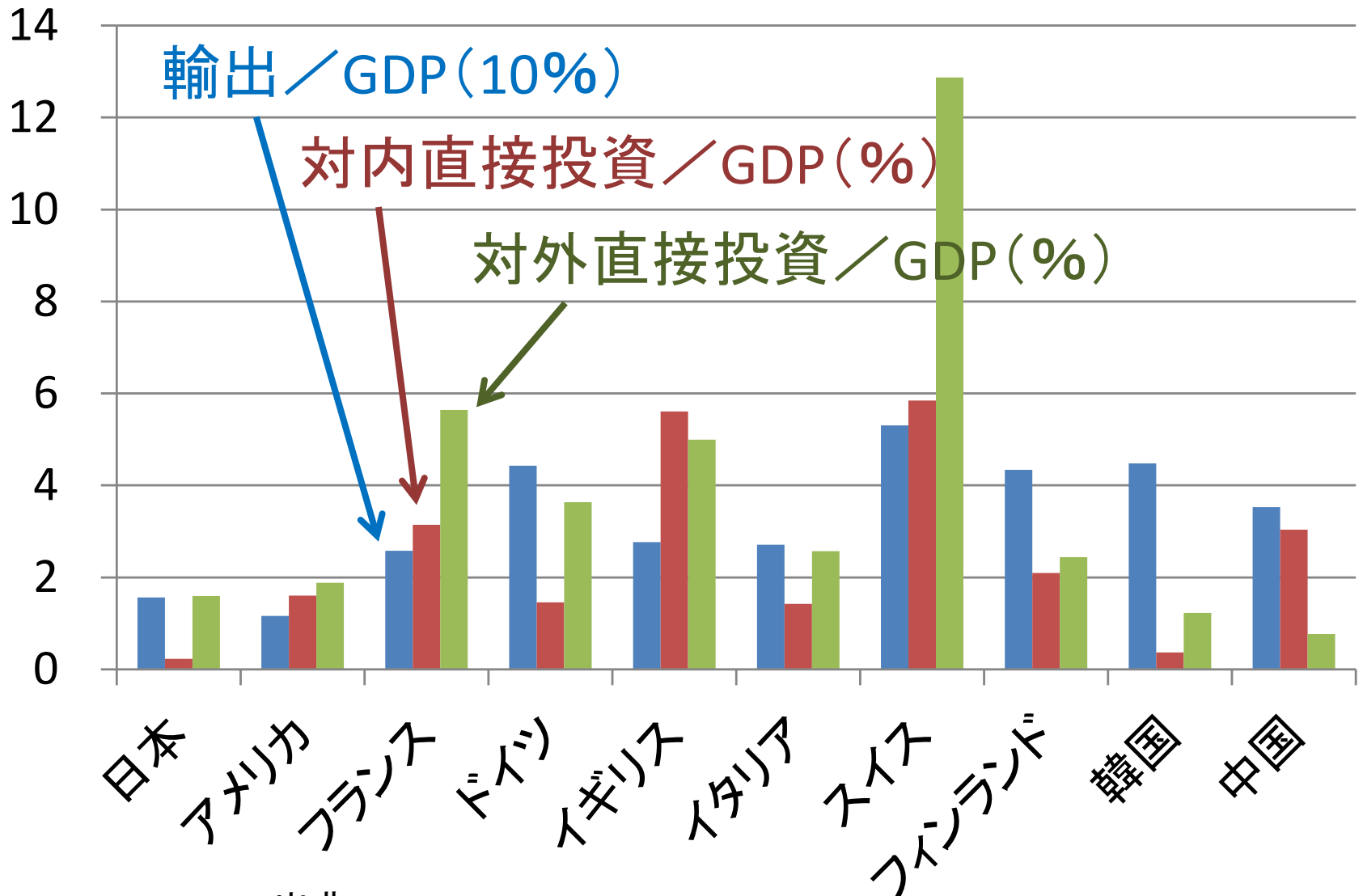


出典：中小企業庁・三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる  
『国際化と企業活動に関するアンケート調査』を基にしたTodo (2012)

# 国内に技術があれば グローバル化しても利益は国内に残る



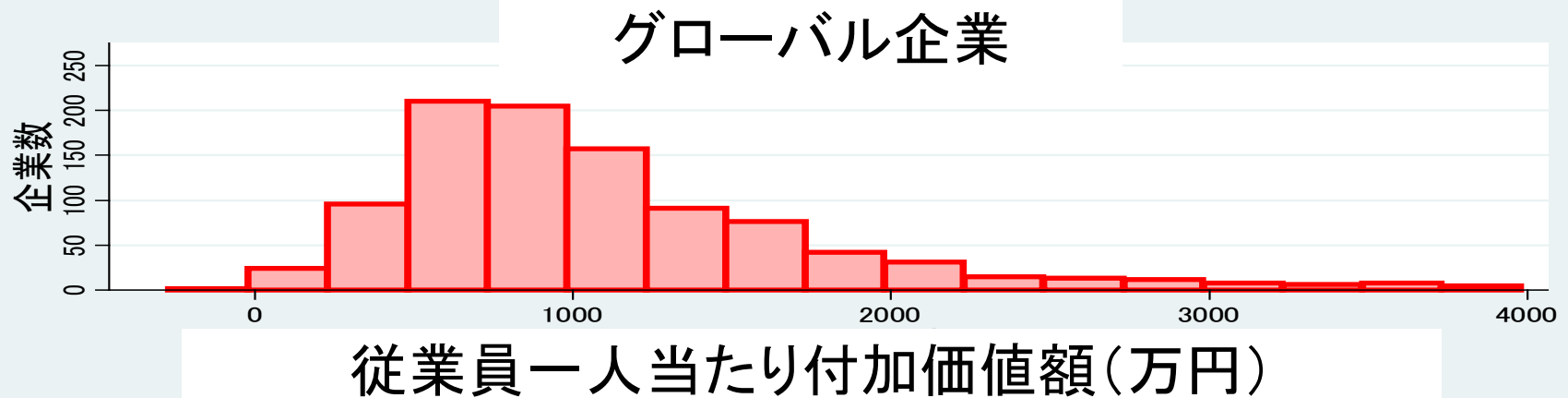
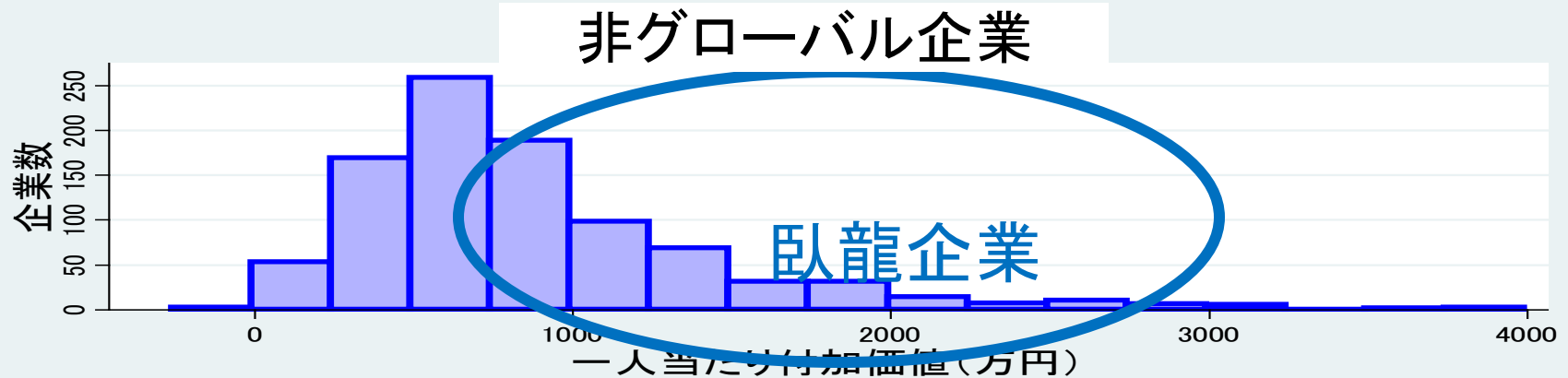
# しかし、残念ながら 日本経済のグローバル化は遅れている



出典：World Development Indicators

# しかし、日本では生産性が高いのに グローバル化していない企業が多い

中小企業庁『国際化と企業活動に関するアンケート調査』  
(2009年12月実施, 製造・非製造業中小企業3513社)による分析



# どうして臥龍企業は海外に出ないのか？

海外になじみがない  
規模が小さい  
→ 海外情報入手  
できない

経営者に海外経験  
→ 国際化率は12%上昇  
(Todo and Sato, 2011)

情報・ネットワーク支援を  
政策的に行うことが必要

海外進出にリスク  
リスクをとらなくても  
国内で存続できる

これからは違う！  
人口減少  
→ 国内需要の縮小  
東日本大震災・タイ洪水  
→ 部品の共通化

# 部品の共通化の進展



技術力のある日本の中小企業にとって、  
むしろ世界的サプライヤーとなるチャンス

鈴寅（現積水ナノコートテクノロジー）

1931年創業  
カーテンの  
染色加工等の  
繊維企業



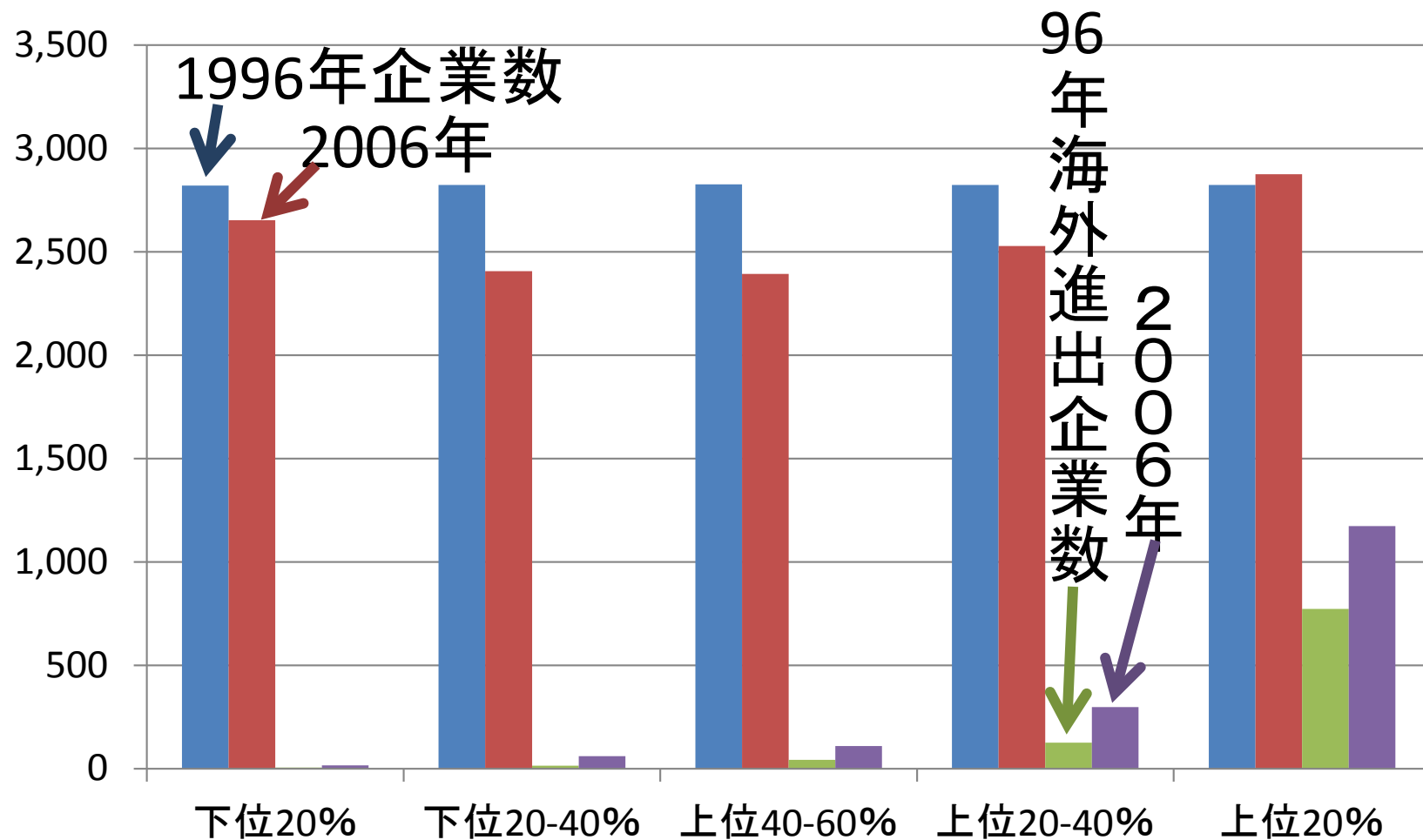
ナノコーティング・  
フィルム  
（スマホ・  
有機EL用等）



サムスングループ  
フィルム事業買収

世界シェア  
10%

# 生き残るために国際化・規模拡大

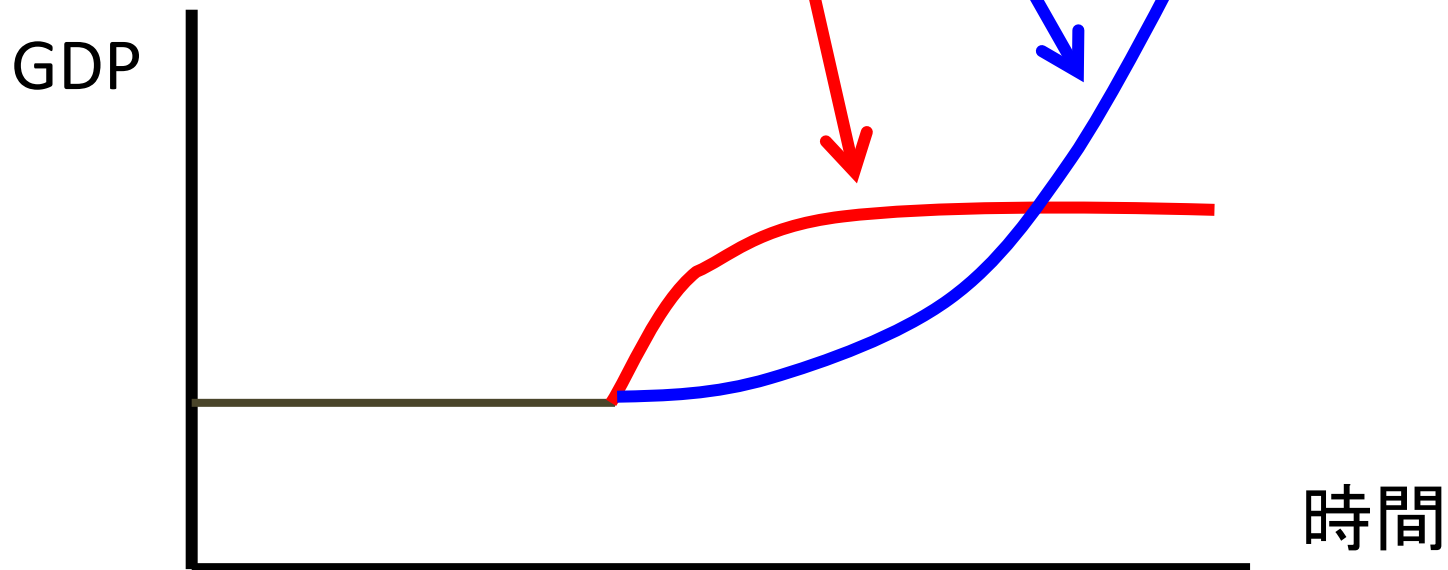


1996年の売上高による企業規模による分類  
 (平均売上は左から12億円、23億、41億、84億、1534億)

# TPPを始めとするEPA(経済連携協定)の効果

輸出・投資の増大 → GDPが増加

貿易・投資の増大 → 「3人寄れば文殊の知恵」 →  
国内にイノベーション → GDP成長率が上昇





# TPPの効果推計

## 注意

このスライドはセミナーで使用・配布したもので、数字に誤りがあります。次ページのものの方が正しい推計です。

(2020年)

対内直接投資1%上昇  
→ 民間融資/GDP  
× 0.78% 上昇

成長率の上昇  
貿易拡大による:  
 $6.8 \times 0.027 = 0.18\%$   
対日投資の拡大による:  
 $3.1 \times 1.03 \times 0.78 = 2.5\%$

過去20年間0.8%であった成長率を3%超にまで引上げる可能性

# TPPの効果推計

赤字は、発表の後に  
修正した箇所です

Petri et al. (2012)

貿易・投資の増加→  
GDP\$955億(約9兆円)増  
貿易額/GDP6.8%pt増  
対内投資/GDP3.1%pt増  
(2020年)

Lee et al. (2004)

貿易額/GDP1%上昇  
→1人当りGDP成長率  
0.027%上昇

Alfaro et al. (2004)

対内直接投資1%上昇  
→**log**(民間融資/GDP)  
×0.78%上昇

成長率の上昇

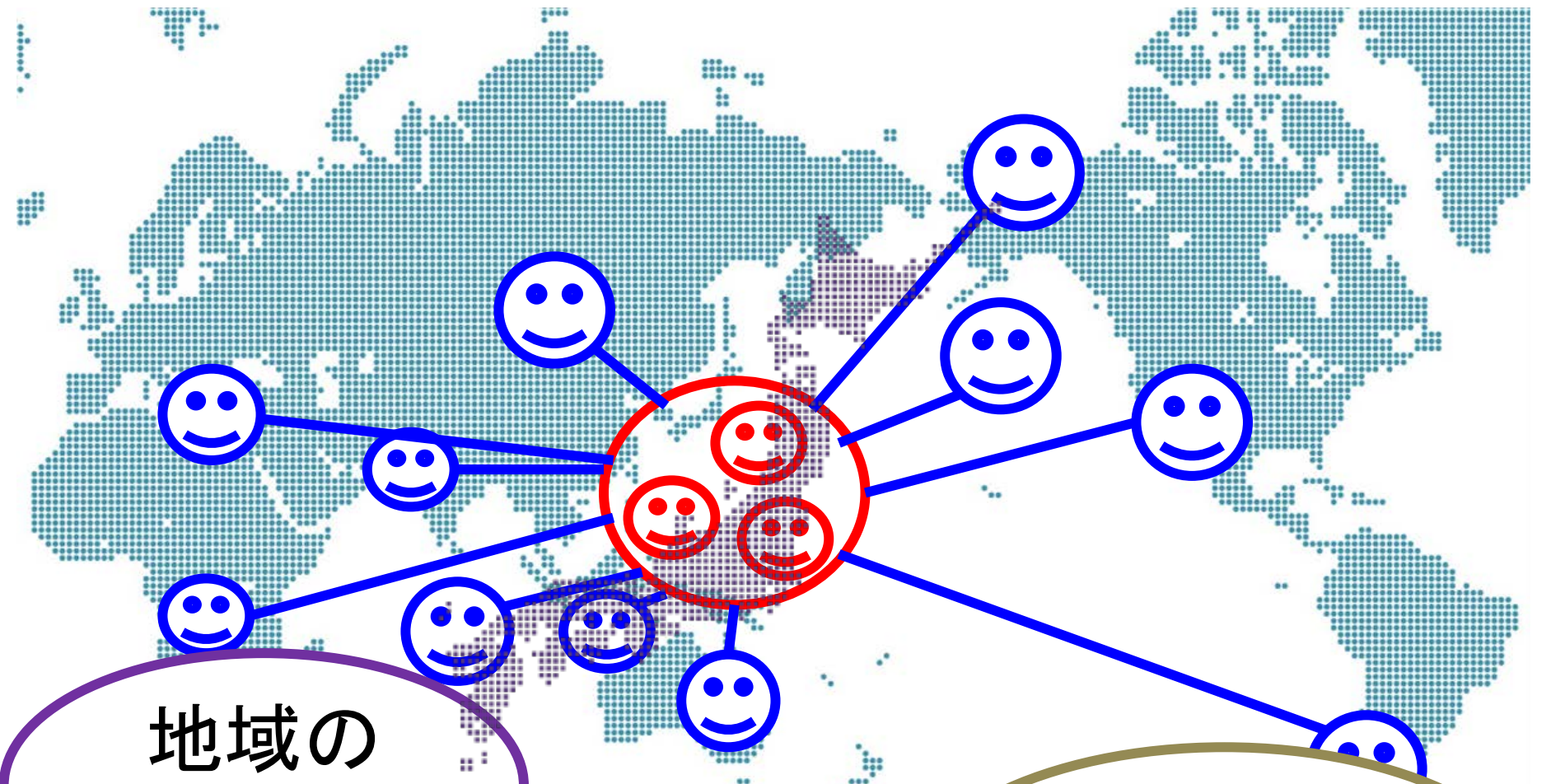
貿易拡大による:

$$6.8 \times 0.027 = 0.18\% \text{pt}$$

対日投資の拡大による:

$$3.1 \times \mathbf{\log 1.72} \times 0.78 = \mathbf{1.3\% \text{pt}}$$

過去20年間0.8%で  
あった成長率を**2%超**  
にまで引上げる可能性



地域の  
つながり

グローバル化



新しい  
高度成長へ

## 参考文献

- Alfaro, Laura, Areendam Chanda, Sebnem Kalemli-Ozcan, and Selin Sayek (2004), "Fdi and Economic Growth: The Role of Local Financial Markets." *Journal of International Economics* 64, no. 1, 89-112.
- Arita, S. and K. Tanaka (2012), "Heterogeneous Multinational Firms and Productivity Gains from Falling FDI Barriers," mimeo, Institute of Developing Economies.
- Centola, D., 2010. "The Spread of Behavior in an Online Social Network Experiment," *Science*, 329, 1194-97.
- Hijzen, Alexander, Tomohiko Inui, and Yasuyuki Todo (2010), "Does Offshoring Pay? Firm-Level Evidence from Japan," *Economic Inquiry*, 48(4), 880-895.
- Kimura, Fukunari and Kozo Kiyota (2006), "Exports, FDI, and Productivity: Dynamic Evidence from Japanese Firms," *Review of World Economics*, 142(4).
- Kraemer, Linden, Dedrick (2011), "Capturing Value in Global Networks: Apple's iPad and iPhone," [http://pcic.merage.uci.edu/papers/2011/Value iPad Iphone.pdf](http://pcic.merage.uci.edu/papers/2011/Value_iPad Iphone.pdf).
- Lee, Y. L., L. A. Ricci, and R. Rigobon (2004), "Once Again, Is Openness Good for Growth?" *Journal of Development Economics*, 75(2), 451-72.
- Petri, Peter and Michael G. Plummer (2012), "The Trans-Pacific Partnership and Asia-Pacific Integration: Policy Implications," Peterson Institute for International Economics Policy Brief. (結果の詳細は<http://asiapacifictrade.org/>)
- Rost, Jatja (2011), "The Strength of Strong Ties in the Creation of Innovation," *Research Policy*, 40, 588-604.
- Tiwana, Amrit (2008), "Do Bridging Ties Complement Strong Ties? An Empirical Examination of Alliance Ambidexterity," *Strategic Management Journal*, 29, 251-272.
- Todo, Yasuyuki (2011), "Quantitative Evaluation of the Determinants of Export and FDI: Firm-level Evidence from Japan," *The World Economy*.
- Todo, Yasuyuki (2012), "Offshoring of Japanese Small and Medium Enterprises," in Burdhan, Ashok, Dwight Jaffee, and Cynthia Kroll eds., *The Oxford Handbook of Offshoring and Global Employment*, Oxford University Press, forthcoming.
- Todo, Yasuyuki and Hitoshi Sato (2011), "Effects of CEO's Characteristics on Internationalization of Small and Medium Enterprises in Japan," RIETI Discussion Paper, No. 11-E-026.
- Todo, Yasuyuki and Satoshi Shimizutani (2008), "Overseas R&D Activities and Home Productivity Growth: Evidence from Japanese Firm-Level Data," *Journal of Industrial Economics*, 56(4), pp. 752-777.
- Watts D.J., Strogatz S.H., 1998. "Collective Dynamics of 'Small-World' Networks," *Nature*, 393, 440-42.
- 戸堂康之, 中島賢太郎, Petr Matous (2013), 「絆が災害に対して強靱な企業をつくる—東日本大震災からの教訓」, 経済産業研究所ディスカッションペーパーとして出版予定.
- 若杉隆平, 戸堂康之, 佐藤仁志, 西岡修一郎, 松浦寿幸, 伊藤萬理, 田中鮎夢 (2008), 「国際化する日本企業の実像—企業レベルデータに基づく分析—」. 経済産業研究所ディスカッションペーパー, No. 08-J-046.